

高等学校教科「情報」における ICT の進展の反映について

Terms reflected the development in ICT on the subject “Information” in senior high school

高田 和典

Kazunori TAKADA

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 国際広報メディア専攻

Graduate School of International Media Communication and Tourism Studies

Email: takadak@imc.hokudai.ac.jp

あらまし：現行の高等学校教科「情報」で利用されている教科書において記述はないかあっても扱いが小さいが、ICTの進歩とともに授業で教えるべきものを教科書の副教材から選び、新聞等の頻出度等から絞り込み、あらかじめ15の用語を選び出しておいた。これら15の用語が、新学習指導要領に沿って執筆された教科書において生徒が学ぶべき学習内容として加えられているか、について調査した。調査には、共通教科「情報」の「社会と情報」及び「情報の科学」の両科目の6社13種類の教科書を調査の対象とした。両科目とも教科書に記述のある用語とない用語には偏りが見られた。

キーワード：教科「情報」、携帯情報端末、教科書

1. はじめに

平成25年度から高等学校新学習指導要領に則った授業が本格的に実施される。今回の改訂では、教科「情報」の中では普通教科「情報」が共通教科「情報」となり、科目も情報A、情報B、情報Cの3科目から「社会と情報」と「情報の科学」の2科目に再編された。平成25年度からの新学習指導要領の実施に向け、文部科学省の教科書検定に合格した「社会と情報」及び「情報の科学」の教科書を検討することができるようになった。

本稿では、高等学校の教科「情報」において指導すべきものとしてあげた携帯情報端末の技術とサービスに係る15の用語（高田2011）が各教科書の中に取り上げられているかについて調査する。

2. 授業で教えるべき用語とは

2.1 15の用語とは

15の用語は、平成15年度から実施されている高等学校学習指導要領に沿って書かれた、情報Aの教科書に載っていないか載っていても扱いが小さいものであるが、高校生にとって学ぶべき用語であることについて、新聞等社会一般で取り上げられている頻度をもとに示した（高田2011）。

「社会と情報」は情報Cの内容を、「情報の科学」は情報Bの内容をそれぞれ柱として構成されている。同時に「社会と情報」と「情報の科学」の両方に情報Aの内容を付加している。「社会と情報」及び「情報の科学」には情報Aの内容を含むことから、普通教科「情報」のうち、情報Aの教科書を調査して選び出した15の用語を教科書に盛り込む必要があれば、「社会と情報」及び「情報の科学」で取り上げられていると考えることができる。

2.2 「社会と情報」における15の用語の扱い

調査したのは、科目「社会と情報」の6社8種類の教科書である。

表1 15の用語の「社会と情報」での扱いの有無

用語	教科書								合計
	A	B	C	D	E	F	G	H	
ケータイ	×	×	×	×	×	×	×	×	0
基地局	×	×	×	×	×	×	×	×	0
オンラインゲーム	×	×	×	○	×	×	○	×	2
SNS	○	○	○	○	○	○	○	○	8
絵文字	○	×	×	×	×	×	×	○	2
動画投稿サイト (動画共有サイト)	×	○	×	×	×	×	○	×	2
プロフ (プロフィールサイト)	○	×	○	×	×	×	○	×	3
迷惑メール拒否 (メール受信拒否、 迷惑メール対策)	○	○	○	○	○	×	○	×	6
フィルタリング	×	○	×	×	○	○	○	×	4
メーリングリスト	○	○	○	○	○	○	○	○	8
ハンドルネーム	○	○	×	○	×	×	○	×	4
無線LAN	×	○	○	○	○	○	×	○	6
オンラインショッピング (ネットショッピング)	×	○	○	○	×	○	○	○	6
ネットバンキング	×	×	×	×	×	×	×	×	0
ネットオークション	×	○	○	○	×	○	○	○	6
合計	6	9	7	8	5	6	10	6	

表1では、A～Hの各教科書における各用語の記述の有無を示している。用語別に見てみる。すべての教科書に記述があるのは、「SNS」と「メーリングリスト」である。「SNS」はFacebookやmixiなどの利用者が多いこともあり、教科書も現在の利用状況を意識していることがわかる。オンラインゲームや動画投稿サイト（動画共有サイト）の利用者が多いにもかかわらず、教科書では2つの教科書のみ扱いである。教科書ごとに見ると、15の用語のうち半

数以上を取り上げている教科書は3種類である。

2.3 「情報と科学」における15の用語の扱い

調査したのは、科目「情報と科学」の4社5種類の教科書である。

表2 15の用語の「情報と科学」での扱いの有無

用語	教科書					合計
	I	J	K	L	M	
ケータイ	×	×	×	×	×	0
基地局	×	×	×	×	×	0
オンラインゲーム	×	○	×	×	×	1
SNS	○	○	○	○	○	5
絵文字	×	×	×	×	○	1
動画投稿サイト (動画共有サイト)	×	○	×	×	×	1
プロフィール (プロフィールサイト)	○	×	×	×	×	1
迷惑メール拒否 (メール受信拒否、 迷惑メール対策)	○	○	○	×	×	3
フィルタリング	○	○	×	○	×	3
メーリングリスト	○	○	×	○	○	4
ハンドルネーム	×	○	×	×	×	1
無線LAN	×	○	○	○	○	4
オンラインショッピング (ネットショッピング)	○	○	○	○	○	5
ネットバンキング	○	○	×	×	×	2
ネットオークション	○	○	○	×	×	3
合計	8	11	5	5	5	

表2では、I～Mの各教科書における各用語の記述の有無を示している。用語別に見てみる。すべての教科書に記述があるのは、「SNS」と「オンラインショッピング」である。「SNS」は「社会と情報」と同様に、教科書も現在の利用状況を意識していることがわかる。「情報の科学的理解」に重点をおいている「情報の科学」で「オンラインショッピング」が5種類すべての教科書で取り上げられているのは考察が必要である。「メーリングリスト」及び「無線LAN」について4種類の教科書で取り上げている。教科書ごとに見ると、15の用語のうち半数以上を取り上げている教科書が2種類である。

2.4 教科書における15の用語の扱い

新学習指導要領に基づいて執筆された教科書は、第1版である。科目名も代わり新規に内容も一新した教科書もあれば、元になった情報Cや情報B、さらには情報Aの教科書で用いていた記述やイラストをそのまま転用している教科書もある。

携帯情報端末の進歩は、ICTの進歩の中でも著しい。特に高校生が携帯情報端末に対して持つ興味や関心は大きいものがある。

教科書において、記述のなかった用語として「ケータイ」と「基地局」がある。「ケータイ」については1種類の教科書において「ケータイ依存」という

記述があったが、「ケータイ」そのものについての説明等はなかった。社会においては「ケータイ」という言葉が一般化しており、副教材等でも頻繁に使われている。教科書に記述がない理由についてさらに調査する必要がある。15の用語の検討の際に「基地局」は、携帯電話等の中継ポイントの意味で副教材や白書等で使われていた。携帯電話がつながるしくみについての記述が教科書に見られなかったため、登場する機会がなかったと考察できる。

3. おわりに

本稿では、教師が授業で教科書を補足して教えるべき15の用語が共通教科「情報」の「社会と情報」及び「情報の科学」の両方の科目に取り入れられているかについて調査した。

新学習指導要領の実施に向けて科目名と教科書は一新した。教師が授業で教える内容が教科書に盛り込まれているかについてさらに調査する必要がある。今回の教科書は第1版であることと、15の用語を含む教科書の数が必ずしも多くないこともあり、ICTの進展が十分反映されているとは言えない。

今後は15の用語についてどのように教科書に記述されているかを調べ、その内容について検討したい。

参考文献

- (1) 赤堀侃司, 永野和男, 坂元章他: “社会と情報”, 東京書籍株式会社, (2012)
- (2) 水越敏行, 村井純, 生田孝至編: “社会と情報”, 日本文教出版, (2012)
- (3) 水越敏行, 村井純, 生田孝至編: “見てわかる社会と情報”, 日本文教出版, (2012)
- (4) 坂村健他: “高等学校 社会と情報”, 数研出版株式会社, (2012)
- (5) 岡本敏雄, 山極隆他: “高校社会と情報”, 実教出版株式会社, (2012)
- (6) 岡本敏雄, 山極隆他: “最新社会と情報”, 実教出版株式会社, (2012)
- (7) 山口和紀他: “高等学校社会と情報”, 株式会社 第一学習社, (2012)
- (8) 本郷健, 松原伸一他: “社会と情報”, 開隆堂出版株式会社, (2012)
- (9) 赤堀侃司, 永野和男, 坂元章他: “情報の科学”, 東京書籍株式会社, (2012)
- (10) 水越敏行, 村井純, 生田孝至編: “情報の科学”, 日本文教出版, (2012)
- (11) 坂村健他: “高等学校 情報の科学”, 数研出版株式会社, (2012)
- (12) 岡本敏雄, 山極隆他: “情報の科学”, 実教出版株式会社, (2012)
- (13) 岡本敏雄, 山極隆他: “最新情報の科学”, 実教出版株式会社, (2012)
- (14) 高田和典: “携帯情報端末の技術とサービスに係る用語について—高等学校の教科「情報」において指導すべき用語として”, 国際広報メディア・観光学ジャーナル, No.12, pp.131-151 (2011)